

**生活環境学研究科**

**【被服学専攻】 修士論文**

1. 被服学分野における高度な専門知識のもとに研究テーマの背景とそこから見いだされる解決すべき問題について述べられているか
2. 先行研究や周辺情報について、研究テーマと関連づけて理解しているか
3. 問題を解決する研究方法が適切に設定されているか
4. 得られた結果を客観的に把握し、論理的な考察ができているか
5. 修士論文全体を通して、一貫した内容となり、問題解決に答えているか

**【生活環境学専攻】 修士論文**

1. 生活環境学分野における高度な専門知識のもとに研究テーマの背景とそこから見いだされる解決すべき問題について述べられているか
2. 先行研究や周辺情報について、研究テーマと関連づけて理解しているか
3. 問題を解決する研究方法が適切に設定されているか
4. 得られた結果を客観的に把握し、論理的な考察ができているか
5. 修士論文全体を通して、一貫した内容となり、問題解決に答えているか

**【被服環境学専攻】 博士論文**

I～IIIの観点で審査を行い、博士学位に相当するかを評価する。

**I. 審査条件：**

主論文を構成する論文は、審査制度が整った査読付き学術専門誌に掲載されたか、または掲載が決定した論文が原則として2報以上あること

**II. 論文内容**

1. 論文題目は、研究内容を学術的視点から明確に示されているか。
2. 論文構成は、高度な専門知識のもと研究の背景および先行研究を体系的に把握し、そこから適切な問題設定を行い、研究意義について明確に述べているか
3. 問題解決にふさわしい研究方法が選択されており、その中に独創性はあるか
4. 結果について客観的かつ高度な知識と経験から解釈し、論理的に結論を導いているか
5. 論文全体を通して、科学的な裏づけと独創性があり、被服環境学分野の発展に資する結果を得ているか

**III. 学力・学識の確認**

事前審査および公聴会における論文内容のプレゼンテーションと質疑応答、審査員による口頭試問試験を通して、当該研究分野の高度な専門知識や研究能力、およびそれに関連する基礎的な学力・学識や自立的研究能力が身についているかを審査する。また、国際化に対応する研究者として第二外国語（例えば日本人学生の場合は英語での学術的コミュニケーション）の能力を審査するこれは学術誌への英語論文の投稿、または国際学会等での発表、海外留学などを総合的に評価する

**国際文化研究科**

**【国際文化専攻】 修士論文**

1. 国際文化及び健康心理学の分野における高度な専門知識のもとに研究テーマが設定され、解決されるべき課題について述べられているか
2. 研究の目的が明確であり、研究倫理を遵守しているか
3. 先行研究を論理的・客観的に理解し、自身の研究に反映させているか
4. 情報収集や調査の方法が適切であり、それらによって得られた結果を論理的・客観的に考察できているか
5. 人々や社会の多様なありかたを認め発展させていくような視点を備えているか